

第5回 三重県立白山高等学校「学校運営協議会」 議事録

令和元年 10 月 30 日(水)18:00~19:45

進行：吉田、記録：金森

出席者 運営協議会委員：吉田、田中、岩崎、坂本、島田、森澤、青山、山下、植田、宇陀、赤塚
白山高校職員：丸山、渥美、山口、濱地、金森

1 あいさつ

- 白山高等学校長
- ・ 授業改善の効果が出ている。「授業が分かる」と答えた生徒が86%いる。
 - ・ 3年生の就職活動落ち着く。進学希望者は推薦が主で11月が最盛期。
 - ・ 生徒たちは現在、文化祭に向けて準備を頑張っている。
 - ・ 陸上部砲丸投げ選手が東海大会で優勝。来年度のインターハイに期待。
 - ・ 茶道、商業、吹奏楽部等が地域イベントに参加しているが、部員は減少傾向。
 - ・ 本日は学校マネジメントシートの中間報告が主となる。宜しく願いたい。
- 県教委指導主事
- ・ 前回の協議会でインターンシップの様子を見学。生徒の生き生きとした姿を見学して、白山高校が地域に支えられている学校であると再認識した。
 - ・ 本日はアンケート結果分析を通じ学校活動の検証を、自己評価を通じ改善を行いたい。より高みを目指してのアクションを。

2 報告事項

(1) 各部会報告(概要)について (教頭)

- ・ 学習指導部会 (第2回) P.2~3 より主な意見を抜粋報告 (教室整理、テスト注意事項掲示等)
- ・ 地域交流部会 (第3回) P.4~5 より主な意見を抜粋報告 (地域との関係性、生徒意見等)
- ・ キャリア教育部会 (第4回) P.6~8 より主な意見を抜粋報告 (長期インターンシップ、新規開拓等)

校長：全員の進路保障に向けて取り組んでいる。

指導主事：「総合的な探求の時間」はキャリア教育に結び付くもの。

3 協議事項

(1) 各種アンケート調査について (教頭)

- ・ 学校生活 (生徒向け)
 - スマホ使用「3時間以上」が6割超。年々増加傾向。
 - 「入学して良かった」が2年生で高いのは甲子園効果？ 3年生も上昇。長く居ると良さが分かるのでは。
 - あいさつ運動の効果が出ている。
 - 長期インターンシップで地域とのつながりが出来、評価が上がっている。
 - 「授業に集中できている」が上昇。良い状態で授業が行われている。
- ・ 保護者
 - 部活動とともに、授業への意欲も上昇傾向。
 - 基礎学力保障、就職指導に期待している。
- ・ 教職員
 - 生徒の多様化に対応するため、中学校との情報共有が重要。進路実現に向け、中学校段階での基礎学力の定着が必要。
 - 地域に対しては、インターンシップ事業に対する理解・協力を期待。

- ・ 学校運営協議会委員<地域>は11/5締切でアンケートにご協力を。

- ・ スマホ使用について、通学時の歩きスマホを見掛ける。
- ・ ホームページの更新がしっかり行われており、受験生に好印象を持たれているのでは？
- ・ 下校時の列車に間に合わなかった生徒が駅に滞留している。
- ・ 挨拶しても返ってこないことが多くある。野球部は元気。上級生ほど返ってくる確率高い。
- ・ ゴミは減っているが、台風の後、折れた傘が捨てられていた。回収の工夫を。
- 「スマホ使用3時間以上」が6割超という実態からすると、他の時間は何をしているのか…。使用時間を抑えたいが、大人でも手放さない時代なので難しい。
ホームページについては、中学生の閲覧が増える時期なので力を入れたい。
- スマホの調査は使用時間のみだが、使い方の内容、傾向を調査した方がよい。生徒の実態が分かるのではないか。
- 傘については、自分の物の管理が甘いことが要因の一つ。「自分の物は自分で片付ける」ことの徹底を図りたい。
挨拶については、できれば自然に行うものなので、学校でもそのような指導をしたい。
- 教職員は中学校の情報共有を重視しているが、そのためのツールはあるか？
- 生徒指導・保健部等が入学者に関する情報について中学校とやり取りをしている。中学校との定期的な情報共有の「場」となると、まだ設定できていない。生徒個人の「カルテ」のようなものが出来ればいいが。
- 中勢地区の生徒指導交流の場（年2回）では情報交換できるものの、個人情報なので取扱いが難しい部分もある。近況報告程度なら可能。
- 入学予定者について、中学への訪問や連絡を行い情報収集している。中学校により提供される情報量に差はあるが、高校入学後に発生した問題があれば、中学校に対してさらに情報を求めることもある。
- パーソナル「カルテ」まで進めると先生方の働き方改革に逆行する。実際には大変な負担になると思う。
- いじめ、生徒同士の争いはあるか？
- あるが、本人同士では「いじめ」との認識がないケースもある。遊びの延長で発生し、ちょっとした言葉のやり取りでいじめに発展する。SNS等への書き込みで悪口を流し、トラブルにつながったケースもある。
- 複数生徒で1人をいじめることは？
- グループ対グループというパターンが多い。
- 本校の場合、ふざけ合いからの派生が多いので、早い対応で改善できることが多い。

(2) 学校自己評価（中間報告）について

- ・ 学校マネジメントシート（教頭）

●P.15~19 より主な取組内容・結果指標等を抜粋説明

- 昨年度と比較して、英語の「ワンウィークトライアル」の実施回数が減少しているのは何故か。
- 年間計画の中で実施している。
- 「60分以内に終了できた会議」の割合が減少しているのはなぜか。
- 今年は、出席人数の多い会議を抜粋集計している影響もある。
- 高校生フェスティバルで白山フランクを販売していた先生は2日間とも同じ先生か。
- 「商業部」としての参加のため、顧問はどうしてもそうなる。商業部に限らず、この時期は文化部も各種のイベントに続けて参加している状態である。
- 地域運動会では野球部生徒のみの参加にもかかわらず、充分やってくれたが。なるべく生徒を

信頼して、生徒のみで活動できないか。

- 生徒の自主性・主体性は尊重したいが、白山高校生として参加する以上、教員が関わらない訳にはいかない。職員の健康管理には留意している。

・分掌マネジメントシート（山口）

●P.20~29 より主な取組内容・結果指標等を抜粋説明（総務・教務・生指・進路・保健・1～3学年）

- 「進路指導部」の「キャリア教育の充実」欄で実施回数が現在「0」となっているが、12月以降、各学年において各種行事を計画している。
- 「1学年」について、「欠席・遅刻を減少させる指導」とあるが、全く登校できていない生徒はいるのか。
- 1学年では1名いる。
- その生徒に、無理はさせられないが、本人は白山高校への継続在籍を希望している。
- いわゆる「発達障害」の生徒は増えているのか。
- 障害者手帳を持っている生徒、或いは、それに近いと考えられる生徒は増えている印象がある。近年社会的に認知されてきたことも理由の一つ。生徒一人ひとりの特性に合わせた指導を心がけており、他の生徒にも好影響を与えている。
- 学校現場はマンパワーに頼りすぎ。県教委は現場に任せきり、ではいかがなものか。
- 白山高校は基礎学力の向上と多様な生徒への対応に注力している「意識の高い」学校。カウンセリングの保護者利用は大きな成果である。
「働き方改革」に照らし合わせると心苦しいが、教育現場でもようやく議論が始まったところだと認識している。
- 台風・大雨等の被害状況は。メタセコイアの大木は倒れると危険かも。
- 低木が2本倒れ、野球用フェンスが傾いた。名松線運休の影響は、休日であったためなかった。運休時には松阪駅より前もって連絡が入っている。メタセコイアについては今後の課題としたい。
- 皆様のご意見を反映させ、十分な結果を残せるよう今後も努力したい。

(3) 教育課程など、その他に関する要望等について

・令和2年度入学生の教育課程（教頭）

- 既にご覧いただいているが、改めてご意見を頂戴したい。
- バランスがとれている。生徒の実態・ニーズに対応した「生徒思いの教育課程」だと思う。

4 連絡事項

(1) 次回日程について（教頭）

- ・地域交流部会として、11月9日（土）文化祭見学後、14：30～
- ・こんにゃく講習会は後日決定後、日程を郵送。

(2) 2年生インターンシップ成果発表会

12月19日（木）10：00～ 一志農村環境改善センターにて。委員の方々には案内送付。参加をお願いしたい。